

令和8年3月27日(金)

日向市定例記者会見



令和8年3月27日

記者発表事項

発 表 事 項		備 考
2	防災デジタルツイン実証実験事業	資料2

発表事項2

地域課題解決へのDX推進

防災デジタルツイン実証実験事業

ソフトバンク・東北大学・日向市

防災デジタルツイン実証実験事業

資料 2

情報提供日
令和8年3月27日



防災デジタルツイン実証実験事業

現実世界の地形、建物、人流の情報をサイバー空間に再現し、災害対策に役立てる防災デジタルツインを活用した「次世代防災実証実験」。

今回のテーマは「**地震(津波)災害を想定した次世代防災実証実験**」。

本市は、南海トラフ地震などによる津波リスクが高く、発災直後の迅速な状況把握と避難誘導が重要であることから、津波災害デジタルツインと自律ドローンの実証実験を行い、防災力の強化に取り組み、結果をもとに日向市防災モデルの確立を目指します。

➤ 開催概要(案)

日時：令和9年1月31日(日)8時00分～12時00分

会場：お倉ヶ浜総合公園周辺

テーマ：「**地震(津波)災害を想定した次世代防災実証実験**」
令和8年度の市総合防災訓練において津波災害デジタルツインとAI(人工知能)技術を用いた遠隔制御ドローンを使用し避難支援実証実験を行います。



地域課題解決に向けた 防災デジタルツイン実証実験事業について

日向市・東北大学・ソフトバンク

2026年3月27日
ソフトバンク株式会社

Hyuga



地域課題解決に向けた共同実行プロジェクト

市民の生活や産業基盤を支えて日向市様のレジリエンスを強化

①防災デジタルツイン



AIの予測技術と
ドローンを駆使

②スタートアップ育成



市内企業と
スタートアップ戦略

③生成AI教育



検討中

AIを活用した
プログラミング育成

④グリーンエネルギー



検討中

バイオマス事業や
脱炭素事業との連携

⑤自動運転



検討中

観光・物流データを活
用

日向市内のフィールド

ソフトバンクRegional Brain活用※も視野に取り組んでいく

先行で取組む実証事業

地域課題の緊急度が高い津波防災について先行で事業着手

①防災デジタルツイン



AIの予測技術と
ドローンを駆使

②スタートアップ育成



市内企業と
スタートアップ戦略

③生成AI教育



検討中

AIを活用した
プログラミング育成

④グリーンエネルギー



検討中

バイオマス事業や
脱炭素事業との連携

⑤自動運転



検討中

観光・物流データを活
用

日向市内のフィールド

ソフトバンクRegional Brain活用※も視野に取り組んでいく

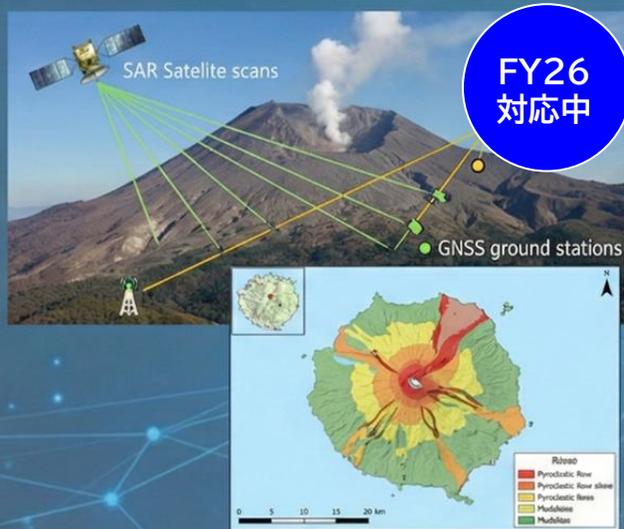
防災デジタルツインに関する弊社取り組み事例

火山・風水害・津波などの防災ユースケースに対し事業展開を推進中

地理空間情報の可視化,意思決定支援機能開発

災害シミュレーション機能開発

東京都 (火山監視DX)



東京都 (火山監視DX)
SAR衛星やGNSSを用いた
噴火予兆検知と土石流リスク評価

内閣府「鳥の目プロジェクト」(風水害)



内閣府「鳥の目プロジェクト」(風水害)
衛星×ドローン×IoTによる
被害早期把握

宮崎県日向市 (津波避難支援)



宮崎県日向市 (津波避難支援)
津波災害デジタルツインとAIドローンを
連携させた避難支援実証

防災DXやインフラ監視DXに関するコンセプト

フェーズフリーな次世代デジタル社会インフラの構築を目指す



防災(津波災害)デジタルツイン実証実験概要

目的

防災(津波災害)デジタルツインと防災ドローンによる避難誘導の有効性検証

実証フィールド

お倉ヶ浜(塩見川～赤岩川間)、お倉ヶ浜総合公園、切島山2区避難山
きりしまやま

地震発生

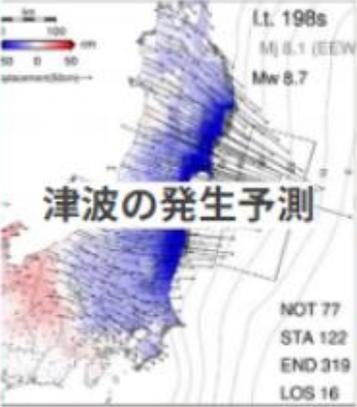
南海トラフ級を想定※



※津波到達時間 20分想定

津波浸水・被害予測

TsunamiCast



津波の発生予測

NOT 77
STA 122
END 319
LOS 16

津波シミュレーション

RTI-cast

被害予測確認

統合データプラットフォーム



被害予測の可視化

避難誘導指示

GeoSense AI



災害対策本部※

※防災訓練では仮想本部の予定

避難誘導

防災ドローン※



スピーカー付きドローン※

一次避難完了

避難山に避難



切島山2区避難山



二次避難開始

参考URL① : https://www.rti-cast.co.jp/technology/real-time_tsunami_prediction_technology/
参考URL② : <https://www.hyugacity.jp/sp/tempimg/20190402112037.pdf>

実証実験の概要スケジュール

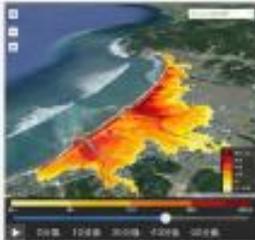
まずは短期フェーズで実用に向けた実証事業を行い
Regional Brain活用や国プロジェクト公募も視野に長期的に活用予定

FY26：短期フェーズ

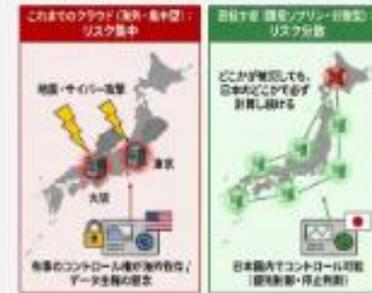
FY27-：中期フェーズ

実証
スコープ

津波sim×AIエージェント×ドローン
による海岸避難誘導訓練



分散DCを活用した災害simの技術実証
自律防災ドローン実証（避難、物資支援）

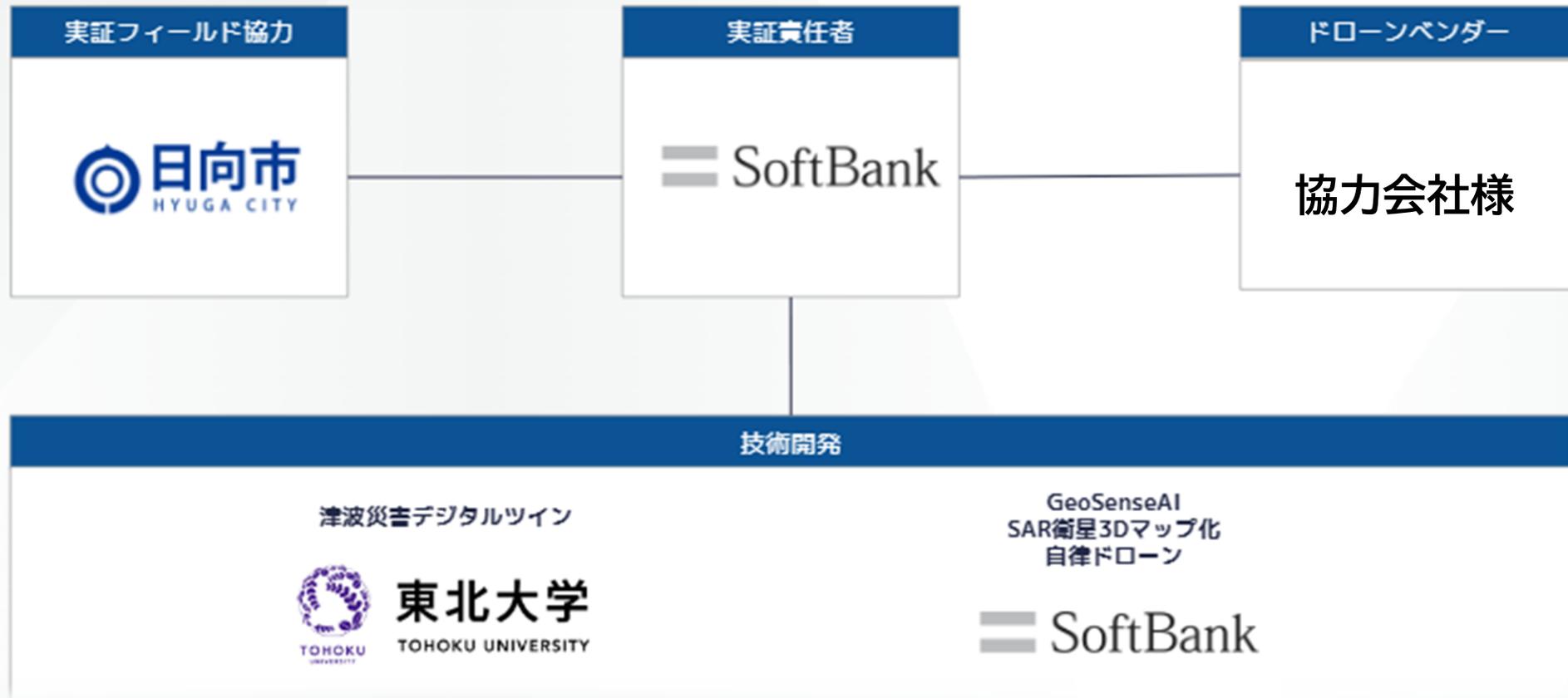


双方で費用を負担

国の交付金を活用予定

実証実験の実行体制

日向市様と東北大学様にも全面ご協力いただき
ソフトバンクにて本プロジェクトを牽引



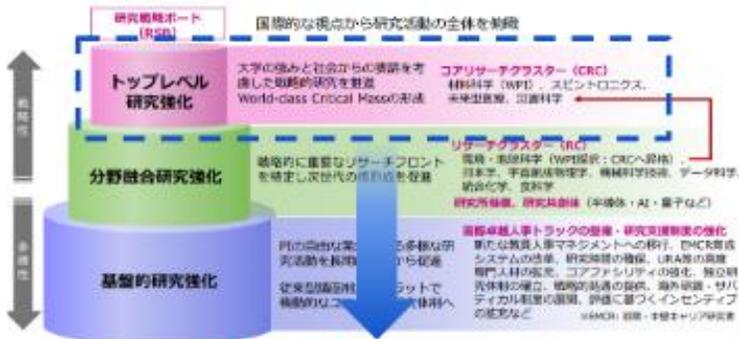
東北大学様ご紹介(遠隔参加にてご説明)

日本初の「国際卓越研究大学」に認定・認可

越村教授との協業を起点にシミュレーション技術を拡張

東北大学

大学全体の評価 THE世界大学ランキング
2025 日本国内
イギリスの高等教育専門誌
「Times Higher Education」
第1位



「国際卓越研究大学」とは、世界トップレベルの研究を行い、その成果を社会や経済に還元できる大学を国が認定する新しい制度

災害科学国際研究所



第3回国連防災世界会議の
成果文書である
「仙台防災枠組2015-2030」
に貢献

※2030年までの国際的な防災の取り組み指針



越村 俊一 教授



- 東北大学
災害科学国際研究所 所長
災害レジリエンス共創センター副センター長
言語AI研究センター 教授
グリーン未来創造機構 宇宙ビジネスフロンティアセンター 教授
 - 神戸大学 大学院海事科学研究科 国際海事研究センター リサーチフェロー
 - 株式会社RTi-cast ファウンダー、CTO (発起人)
気象庁から民事業者初の津波予報業務許可を取得
 - 国立研究開発法人理化学研究所 客員研究員
- ※その他、国内外の多数の委員会に参加



東北大学

TsunamiCast



RTi-cast

東北発の技術を宮崎に

越村 俊一

東北大学災害科学国際研究所

株式会社RTi-cast



TsunamiCast

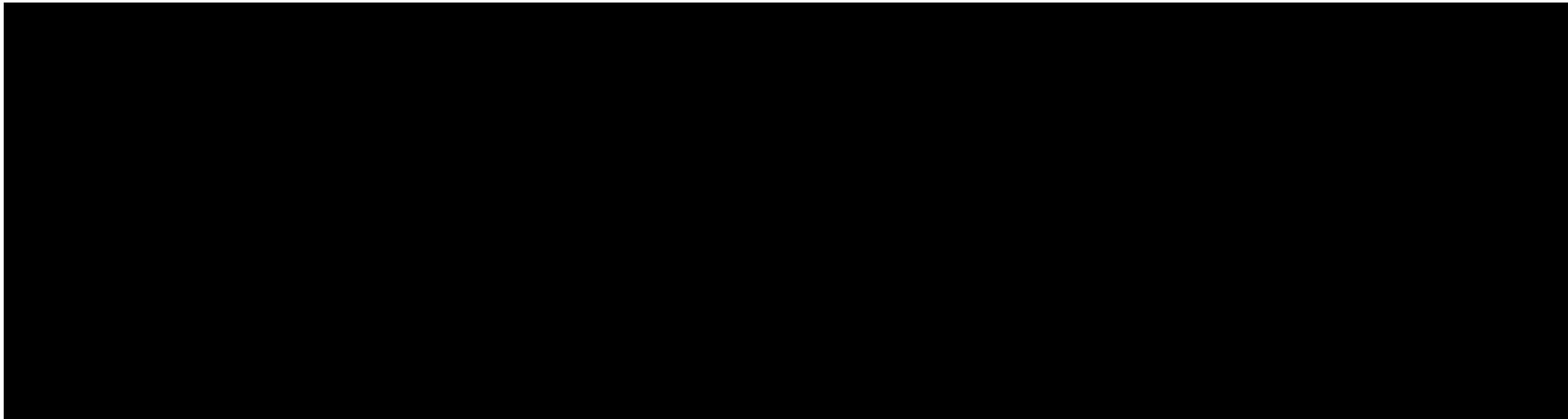
2011年東日本大震災

映像提供：NHK

15:59:26;12

津波の浸水状況や被害状況の把握に困難を極めた。
被害状況の分からない中で対応を迫られた。

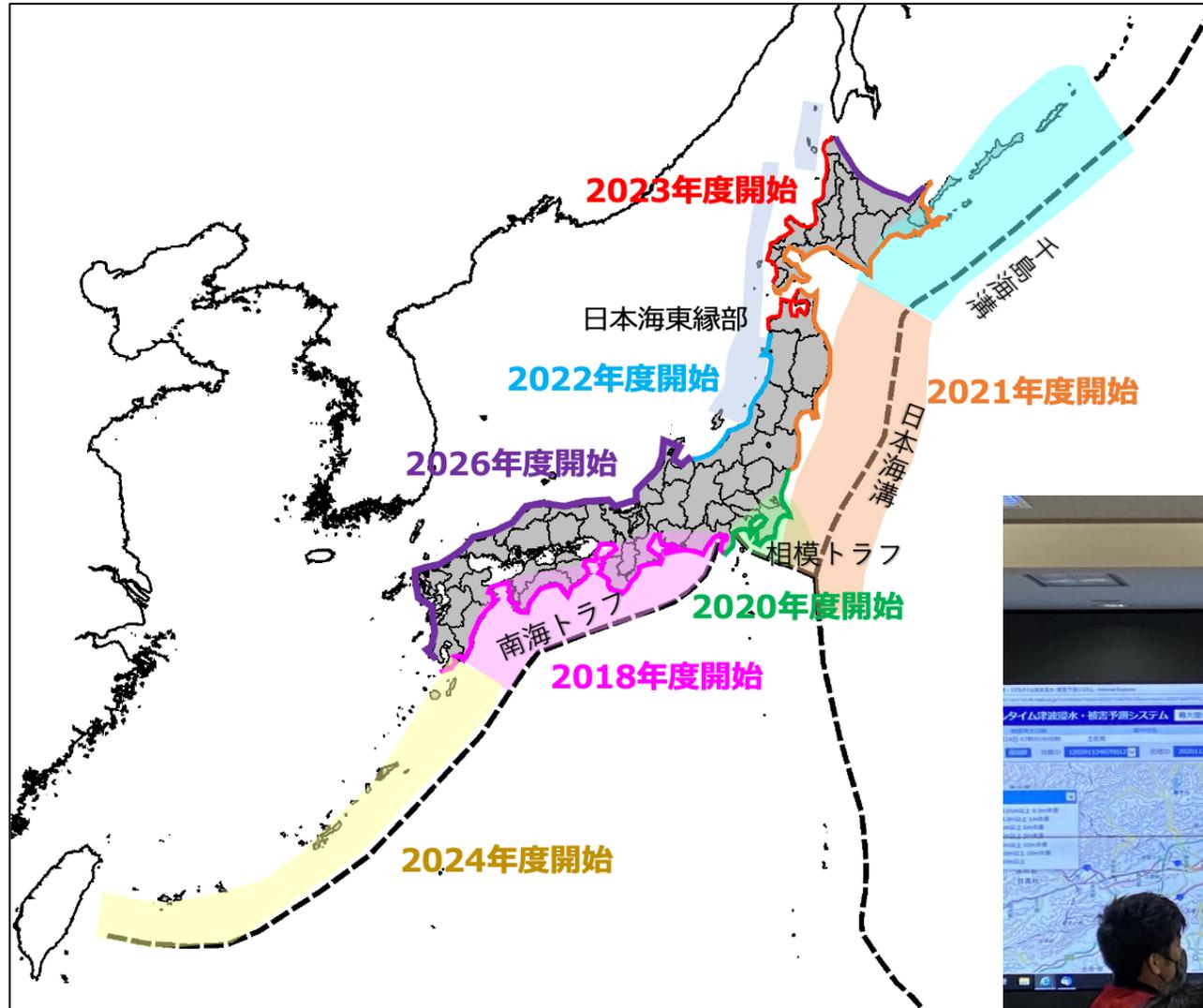
TsunamiCast : ユニークな津波浸水予報



気象業務法による津波予報業務許可 (許可第240号)

- 津波高さだけでなく、内陸への広がり（浸水域）や起こりうる**被害を予測**。
- **きめ細かな情報を迅速に配信**することで、被災地の救援活動や災害対応を支援。

2026年，外海に面した日本の海岸線が予報対象に



ご清聴ありがとうございました